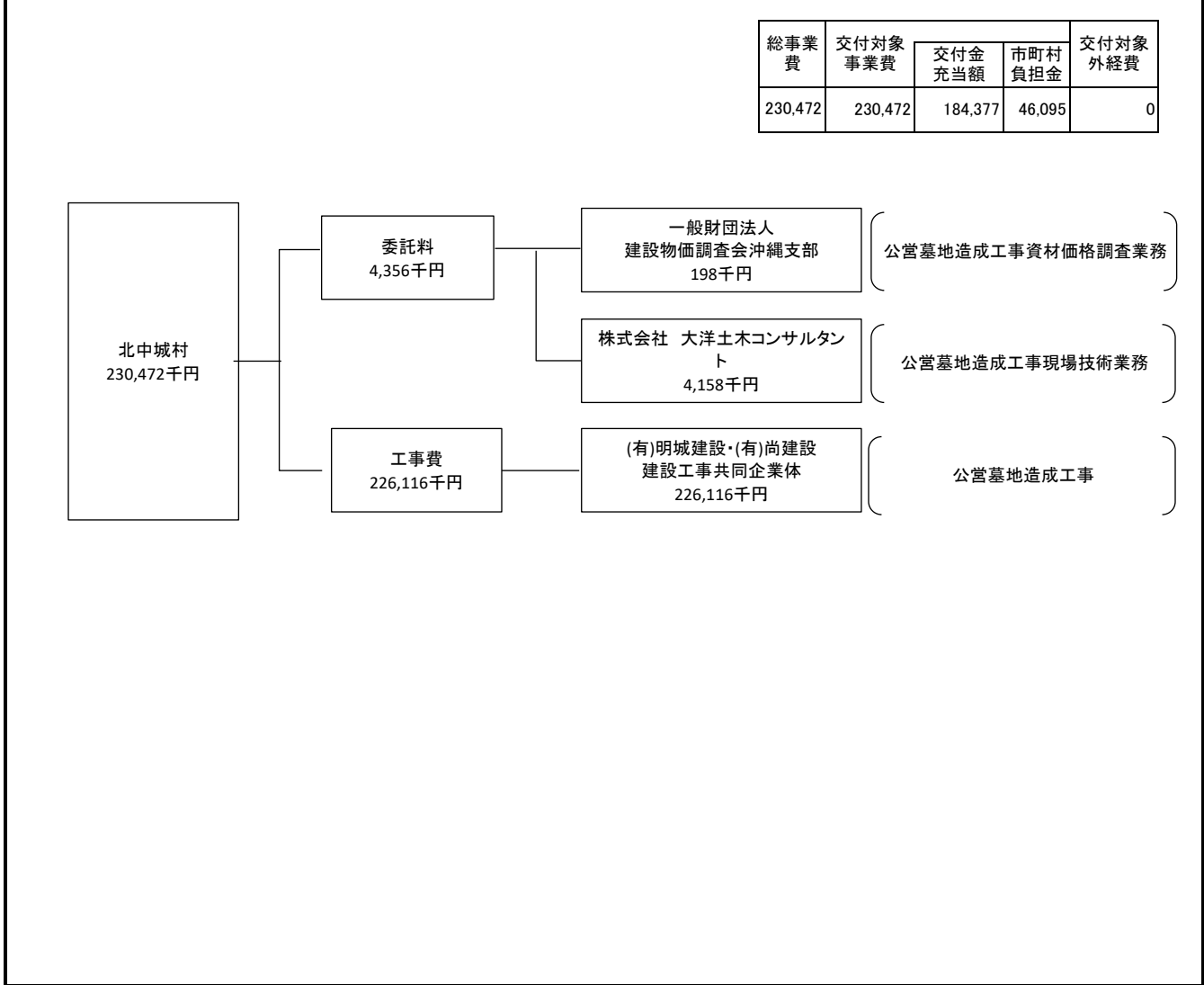


市町村名	北中城村						
令和2年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-④	公営墓地整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(6)-ア	
担当部署名	住民生活課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄らしい風景づくり		
事業内容	沖縄独特の墓地散在化の抑制と整理、景観的な住環境の改善を図るため、公営墓地の整備を実施する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(4年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R1年度(繰越)	R2年度	R2年度(繰越)	
	予算の状況	(a)当初予算額	71,907	124,497	-	296,638	-
	(b)予算現額	27,119	205,689	-	234,000	-	
	(c)増減額(b-a)	▲44,788	81,192	-	▲62,638	-	
	(d)繰越額	-	-	141,078	-	109,815	
	A.計(b+d)	27,119	205,689	141,078	234,000	109,815	
	B.執行済額	25,089	64,281	141,078	124,185	106,287	
	うち交付金充当額	20,071	51,424	112,113	99,348	85,029	
	次年度繰越額	0	141,078	0	109,815	0	
	執行率(%) (B/A)	92.5%	31.3%	100.0%	53.1%	96.8%	
予算の状況の説明	<ul style="list-style-type: none"> ・R2年度の62,638千円の減額については、工事設計額の減額(62,163千円)及び現場技術業務の執行残(475千円)によるものである。 ・法面工法の変更により、必要な資材の納期に遅延が生じ、不測の日数を要したことから、109,815千円をR3年度に繰越すこととなった。 ・R2年度繰越については、計画通り予算を執行することができた。 						
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	公営墓地用地造成工事の実施	目標	(実施計画の検討)	(進入路整備工事の実施)	(用地造成工事の実施)	()	
		実績	実施計画の検討	進入路整備工事の実施	用地造成工事の実施		
		目標	()	()	()	()	
	実績						
達成状況説明	造成地の一部で法面工法の変更や当該工法に必要な資材の入手が困難となり、R3年度へ繰り越すこととなったが、概ね順調に工事を実施することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(R4年度)
	公営墓地用地造成工事の完了	目標	()	(実施設計の完了)	(進入路整備の完了)	(用地造成工事の完了)	()
		実績		実施設計の完了	進入路整備の一部完了	用地造成工事の完了	
	【R4成果目標】 公営墓地利用世帯	目標	()	()	()	()	(35世帯)
		実績					
進捗状況説明	造成地の一部で法面工法の変更や当該工法に必要な資材の入手が困難となり、R3年度へ繰り越すこととなったが、R3.8月には工事を完了することができた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・造成地の切土法面箇所において、浸食を受けやすい法面であることが判明し、比較検討の結果、654㎡をプレキャスト法枠工法に変更した。これにより、必要な資材が入手困難となるなどの不測の事態により工期が延長することとなったが、工法を変更したことで、安定した法面を整備することができた。</p>	<p>・事業箇所は、森を切り開いた場所に位置し、湧水や草木の浸食を受けやすい。今回の造成工事において、懸念箇所は対策済みであるが、長期的な維持管理には留意する必要がある。</p> <p>・進入路及び墓地用地造成工事が完了したことにより、納骨堂を整備を進めることで、R4年度の供用開始に向けた取組みを進める必要がある。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・納骨堂の整備に取り組む。</p> <p>・R4年度の供用開始に向け、例規関係の整備及び事業周知に取り組む。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の 用途の 流れ、 費目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>・委託事業者及び工事請負事業者は、指名競争入札により選定しており、妥当であったと考える。</p> <p>・予算規模については、事前に見積りを取るなど、内容を確認しており妥当であったと考える。</p> <p>・費目・用途については、精算段階で検査を実施しており、事業目的に即し適正であったと判断する。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	